

日本一のハウス柿をPR！ ハウス柿部会が農水副大臣を表敬訪問



日本一のハウス柿を贈呈しました

7月31日、全国1位の生産量である奈良県のハウス柿「刀根早生柿」をPRするため、磯崎陽輔農林水産副大臣を表敬訪問しました。当JAハウス柿部会の辰己清部会長をはじめ、西吉野柿部会北田哲也部会長、太田好紀五條市長、奈良県農林部石井佳世次長、当JA田中稔之理事長らが農水省を訪問し、ハウス柿を贈呈しました。

奈良県は国内有数の柿産地で、ハウス刀根早生柿は全国の約80%のシェアを誇り、生産量全国第1位です。本年度のハウス柿は、昨年に比べ果実はやや大玉で、内容は十分な仕上がりとなっています。

柿を試食した磯崎副大臣は、「甘くてとてもおいしい」と絶賛されました。

長年の献血功績で 感謝状の贈呈を受けました

8月6日、奈良県庁にて開催された「平成30年度奈良県献血功績者表彰式」で表彰を受けました。この表彰式は、県民の献血に対する理解を深め、献血運動を推進することを目的に、献血に功績のあった団体・個人を表彰するというもので、今年度は19団体と5名が表彰されました。当JAには、献血事業の推進に功績があったとして、奈良県献血推進協議会会長感謝状が贈呈されました。

村本佳宜専務理事は「地域貢献の一環として、今後も献血運動に取り組んでいきたい」と話しました。



表彰を受けた村本佳宜専務理事（最後列右から2人目）

郡山・生駒地区ちゃぐりんフェスタ 夏野菜カレー・LEDランタン作り

郡山・生駒地区は8月5日、キッズくらぶ・ちゃぐりんフェスタを開催し、親子合わせて約30名が参加しました。

朝は『ちゃぐりん』誌掲載の夏野菜カレーとドレッシングを作り、子どもたちは慣れない手つきながらも、美味しいカレーが出来上がりました。午後からは、パナソニック株式会社の久保秀則氏を講師に迎え、LEDを使ったランタン作りに挑戦しました。完成後、部屋を暗くしてスイッチを入れると、色とりどりのランプが光り、幻想的でとても綺麗でした。参加者は「とっても楽しく過ごせた。ランタンは夏休みの自由研究にぴったりで良かった」と話していました。



みんなで力を合わせて作りました！

山添支店 ～1店舗1協同活動～ 行政と協力し、食農フェスタを開催！



山添村の“からす天狗のてんまろ”と一緒に、ドローンで記念撮影！

山添支店は8月19日、一店舗一協同活動の一環として、山添村役場と共同で「親子で学ぼう！食農フェスタ」を山添村豊原公民館で開催し、地域住民約30名が参加しました。午前中は、空き缶でご飯を炊き、カレーライスを作りました。午後からは山添支店・山添村・山添中学校などが設置したブースで、クイズやゲームを楽しんだ後、同地区青壮年部の森本浩匡部長が操縦するドローンで記念撮影をしました。

山添支店の前田勝久支店長は、「これからも行政や学校とも協力して食農・食育活動の充実に取り組んでいきたい」と話しました。



大和高原の良質な環境のもとで生産

上之郷共計共販キュウリ部会 目揃え会を開催

7月18日、上之郷共計共販キュウリ部会は、桜井市小夫の公民館で目揃え会を開きました。部会員や当ＪＡ、市場の職員等19名が出席し、キュウリの出荷規格を再確認しました。同部会の品種は「Ｖロード」「Ｖアーチ」「Ｖシャイン」で、収穫は7月中旬から9月中旬まで続き、1万箱（1箱5kg）以上を目標に出荷します。猛暑による影響は少なく、品質は上々です。



管理を徹底し、更に高品質を目指します！

中森侔部会長は「今日の目揃え会で病害虫に対する理解を深め不明な点は質問し、高品質なキュウリを出荷していただきたい」と挨拶しました。川東営農経済センターの上内英定所長は「作物・自身の管理にも十分気を付け、長い期間収穫することで所得向上につなげていただきたい」と話していました。

真菅駅前支店

高齢者を対象に高血圧予防教室を開催

真菅駅前支店は7月25日、地域の高齢者を対象に、橿原市の健康増進課から講師を招いて高血圧予防教室を開催しました。この教室は地域貢献活動の一環として、地域住民の健康長寿を促進することを目的としており、高血圧が様々な病気の原因になることや、正しい血圧の測り方、高血圧を防ぐ塩分摂取量など、血圧に関する基礎知識から生活習慣のポイントについて学びました。

参加者は興味深そうに耳を傾け、「減塩しょうゆを試したりドレッシングを控えたりして、健康な食生活を心掛けたい」と話していました。



高血圧を予防し、健康的な生活を送りましょう

広陵北支店 ～1店舗1協同活動～

女性部員・地域住民がフラワーボールペン作り



素敵なオリジナルボールペンが完成しました

7月26日、広陵北支店は1店舗1協同活動として、『家の光』誌掲載の押し花入りフラワーボールペン作りを開催し、管内の女性部員11名と子ども2名を含む地域住民19名が参加しました。

初めに居村副支店長が、「ＪＡではさまざまな事業やイベントを行っており、この講習会がＪＡをもっと知っていただくきっかけになればと思います」とあいさつしました。参加者の中には、初めてＪＡのイベントに参加する人もおられ、「地域の人とも交流が出来たので、またこのようなイベントに参加したい」と喜ばれていました。



ＪＡのつどい 天童よしみコンサート

たくさんのご来場ありがとうございました！



大淀町文化会館では柿奈ちゃんもかけつけてくれました♪

平成30年度「ＪＡのつどい」天童よしみコンサートを各地区で開催しました。7月から始まり、県下6地区で7日間計14公演あり、8月19日の五條・吉野地区での開催で全公演が終了しました。

歌謡ショーでは、日本有線大賞を受賞された「夕月おけさ」や最新曲「きずな橋」など15曲を披露。各地区の職員がそれぞれの地域の特産品を天童さんにプレゼントする一幕やお楽しみ抽選会もあり、会場は大いに盛り上がりしました。

作業の省力化へ

ドローンで水稻病虫害防除

8月1日、五條南部営農経済管内で、水稻病虫害防除の作業省力化に向けて産業用マルチローター（ドローン＝小型無人飛行機）を活用した農薬散布を、4軒分の圃場併せて約2.2haで行いました。起伏が多く作業が困難なところもありましたが、10a当たり約1分で散布が終わりました。

依頼された農家の方は、「夏場の暑い時期に田んぼに入って農薬散布するより遥かに楽だった」と話していました。当ＪＡでは今後もドローンを活用し、農業の低コスト・省力化に取り組んでまいります。



各種事業でドローンの活用を検討してまいります



ふたご座
5/21～6/21

【全体運】 珍しく感情的になりやすいかも。人の行動に口出しすると、トラブルを招くので、ご用心。笑顔で心掛けて
【健康運】 運動不足気味。小まめに動けば好変化が
【幸運の食べ物】 アシタバ



JAならけん女性大学
Na La Chou-Chou ～ナ・ラ・シュシュ～

Study 4
冬野菜の
植付け体験

冬野菜の植付け体験をしました！

「まほろばキッチン榎原店」近くの圃場で、大根の種まきとブロッコリー苗の植付け体験を行いました。JA職員から植付けの説明を受け、雨続きでぬかるんだ土に足をとられながらも、約4aの畑に植付けをしました。



第5回講義は、各地区に分かれて
体験講座を予定しています。

奈良県産野菜の消費拡大へ！

“やさいの日” イベントを各地で実施



箱の中身は何でしょう？

8月31日の語呂に合わせた「やさいの日」のイベントを、まほろばキッチン榎原店・JR奈良駅前店、エコープ榎原店などで行いました。

県産野菜の消費拡大と「やさいの日」の認知度アップのPR活動を行い、安全・安心な奈良県産夏野菜を食べてほしいという気持ちを込めて、来店者へ奈良県産のなすとキュウリを無料で配布しました。まほろばキッチンでは、箱に何の野菜が入っているのかを触って当てるイベントも行いました。



JR奈良駅前店のイベントの様子

郡山・生駒地区助けあい組織「にじの会」

ミニふれあいデー開催



懐かしい歌を歌いながら、楽しく体を動かしました♪

9月7日、助けあい組織「にじの会」は、郡山営農経済センターにて『ミニふれあいデー』を開催し、年金友の会会員や組合員らシニア世代44名が参加しました。

日本フィットネス協会公認インストラクターの山本三歌代氏を講師に迎え、歌いながら体を動かす軽体操を楽しみ、参加者同士で交流を深めました。参加者には、「にじの会」会員の「いざという時に対応できるように」という思いを込め、防災用ホイッスルがプレゼントされました。同会の若林久美子会長は「今後も助けあい組織として、高齢者に対するボランティア活動を続けていきたい」と話していました。

奈良市柏木・奈良南部営農経済センター

2018総合展示会を開催！

奈良市柏木・奈良南部の両営農経済センターは、9月1日・2日に、奈良市柏木営農経済センターで「2018総合展示会」を開き、2日間で約1,700名の組合員や地域住民の方が来場しました。最新の大型農機をはじめ、生産資材・生活用品を多数展示即売しました。また、管内支店の女性部は、コロケやみたらし、焼きそばなどの模擬店を出店し、展示会に花を添えました。

柏木営農経済センターの崎山敬厚所長は「今後もイベントを通じて農業振興と地域活性化につなげていきます」と話しました。



2日間にわたり、大いに盛り上がりました！



おひつじ座
3/21～4/19

【全体運】勢いがつき過ぎて空回りするなど、バランスを崩しがち。時々一歩引いて、自分の行動を冷静に見詰め直して
【健康運】ストレッチなどで血行を良くすれば安泰
【幸運の食べ物】ニンジン

今からできる秋野菜栽培講習会



講習を熱心に聞く参加者たち

8月22日、桜井しき・宇陀地区統括部は織田営農経済店舗で、地域に寄り添う活動の一環として秋野菜栽培講習会を開き、女性部員や地域住民合わせて約40名が参加しました。同地区女性部では秋野菜苗の共同購入を実施しており、購入者からの「講習会を開催して欲しい」という意見を受け、今回実現しました。

講習会では川東営農経済センターの上内英定所長が講師を務め、キャベツやブロッコリー等の土作りから収穫までの栽培方法や、肥料・病気についての説明がありました。参加者からは「家庭菜園初心者ですが、わかりやすかった」と好評でした。

大感謝祭を開催！



お目当てのものを求め、多くの方にご来場いただきました

8月25日、御所営農経済センターは、地域住民の事業への理解と協力に感謝し、また普段利用のない方々にもJAに親しんでもらおうと、大感謝祭を開き、地域住民約700名が訪れました。

農業機械の展示販売や、園芸用土が特価で販売されたほか、女性部による焼きそば・焼きとうもろこし・五平餅などの模擬店、くじ入りの餅まきといったさまざまな催しで、来場者は楽しんでいました。



子供から大人まで楽しめる企画が盛りだくさん！

大盛況！！

葛城・高田地区農協まつり

9月8日・9日、新庄営農経済センターにて総合展示会「葛城・高田地区農協まつり」を開催し、2日間で9,200名が来場しました。農業機械や農業資材などの展示販売や、各地区女性部による模擬店、青壮年部員による地元農産物の即売などが行われました。また、クロワッサンサーカスによる大道芸や米消費拡大の一環としてボン菓子の実演販売などが行われました。参加者は「JAの展示会で売られている野菜などは地産地消のものばかりなので、安心して食べられます」と話していました。

カラハリスイカの収穫始まる 秋津集落営農組合

秋津集落営農組合では8月27日、御所市池之内の畑でカラハリスイカの収穫が始まりました。当JAを通じてベンチャー企業に出荷されます。同営農組合は担い手・後継者不足により使用されなくなった遊休農地を有効活用する目的で結成され、2009年から活動の一環として、美容・健康に効能がある「砂漠のスイカ」カラハリスイカの栽培を始めました。収穫後の畑にはハクサイやキャベツなどを作付けし、冬に直売所を開くなど、さまざまな活動を通じて地域活性化に取り組んでいます。



カラハリスイカの収穫の様子

下市支店～ 1店舗1協同活動～ 手作りハーバリウム教室



思い思いにハーバリウム作成中…

下市支店は夏休みに合わせ、普段来店することが少ない子どもたちや若い世代の方にも参加してもらえるよう、手作りハーバリウム教室を開催し、大人19名、子供6名が参加しました。参加者は選んだ容器に花を飾り付け、オイルを注ぎ入れ蓋をし、リボンを付けて完成！

参加者からは「初めてJAのイベントに参加したけど来てよかった」と話していました。今後もさまざまな企画を考え、地域に貢献してまいります。



10月2日は直売所の日

J A ファーマーズマーケットに行ってみよう！



10月2日、県内4ヶ所の農産物直売所で「直売所の日」にあわせたイベントを開催しました。まほろばキッチン榎原店・JR奈良駅前店では柿の詰め放題を行い、用意された両店舗合計1.2トンの西吉野産・刀根早生柿が完売するなど盛況でした。JAグループは、10月2日を「直売所の日」として登録し、イベントやキャンペーン等を毎年行っていく予定です。この取り組みは、准組合員や地域住民にJAファーマーズマーケットに足を運んでもらい、「農業振興の応援団」となってもらうことを目的としています。

直売所の日に合わせて、10月1日から11月30日の期間中、同一の農産物直売所で、2,000円以上購入したレシートを集めて応募いただいた方を対象に、国産銘柄米や黒毛和牛が当たるキャンペーンを行っています。この機会にJAファーマーズマーケットに足を運んでみませんか？



直売所の日イベントを楽しんでいただきました

安倍首相を表敬訪問

柿食えば 笑顔あふれる 奈良のまち



おいしい奈良の柿を味わっていただきました

10月11日、奈良県農産物生産・流通部会果樹部会の岡田正俊会長を筆頭に、五條市の太田好紀市長、当JA中出篤伸会長らが安倍晋三首相を表敬訪問し、旬を迎えた県産柿「刀根早生」をPRしました。

今年は、台風が近畿地方を立て続けに襲ったため、枝折れや落果等の被害がありました。安倍首相は、度重なる台風被害を耐え抜いた柿を「甘くて美味しい」と試食されました。今回で6回目の表敬訪問になりますが、恒例の一句として「柿食えば 笑顔あふれる 奈良のまち」と正岡子規の名句をもじって詠まれました。

冒頭、岡田会長は「安倍首相に柿を届けられるのは生産者にとって大変励みになる」とあいさつ。中出会長は「輸出の拡大を含めた“奈良の柿”のさらなる事業拡大を目指している」と報告しました。

「奈良の柿」を全国へ！

東京大田市場でトップセールス

10月4日、東京の大田市場で『奈良の柿』の消費拡大を目的にトップセールスを行い、ピークを迎える「刀根早生柿」を仲買人に向けPRしました。荒井正吾奈良県知事、太田好紀五條市長、当JA田中稔之理事長、西吉野柿部会の北田哲也部会長らが参加しました。

田中理事長は「今年は度重なる台風の影響を受けましたが、生産者は精一杯努力し、甘味がのった柿に仕上がりました。市場並びに仲卸業者の皆さまには是非お買い上げいただきたい」とあいさつ。また、市場関係者を前に、奈良の柿PRレディと、マスコットキャラクターの“みらいくん”“せんとくん”“カッキー”が柿の試食を勧めました。

今年は梅雨明け以降、立て続けに台風が上陸し、被害もあって非常に厳しい状況でしたが、消費者に柿を提供するため収穫の手を止めることなく、現在までの収穫量は前年を上回る出荷量で推移しています。



オール奈良で柿をPRしました

台風21号被害支援活動

J A職員でチームを組み、倒壊したビニールハウスの復旧作業にあたっています

9月に襲来した台風21号は各地に甚大な被害をもたらし、奈良県内では、把握しているだけで350戸の農家（被覆資材被害373棟・パイプ資材被害278棟）の農業施設に大きな被害が出ました。

当JAでは、暴風で破損し、使用できなくなったビニールハウスの撤去作業の支援を行っています。なかでも9月・10月初旬に定植をしなければならないイチゴのハウス被害を優先的に、10地区において撤去作業の支援を行いました。

支援を依頼した組合員の方は「人手が少なくどうしようかと思っていたところ、JAが手伝いにきてくれて本当に助かった。これからも農業をがんばっていきたい」と話していました。



雨の中、撤去作業の支援を行いました



郡山・生駒地区女性部 リーダー研修会 災害時に役立つ体験学習

10月2日、郡山・生駒地区女性部はリーダー研修会を開催し、各支部の部長・副部長ら27名が参加しました。奈良県防災士会の大北容子理事と防災士3名の方を講師に迎え、防災の基礎知識や自分たちでできる災害対策などの講演の後、胸部圧迫の訓練やAEDの使い方、応急手当などを実際に体験しながら学びました。参加者は「AEDを使うのは怖かったが、防災士の方から分かりやすく教えてもらえました。またこのような学習活動を開催してほしい」と話していました。

女性部員の防災意識を高める良い機会となりました。



体験を通して防災意識を高めました

奈良・天理・山辺地区 第3回あぐりスクール 茶摘み・紅茶作り体験実施！



初めての紅茶作りに夢中です！

9月22日、第3回あぐりスクールを奈良市月ヶ瀬で開催し、生徒・保護者など121名が参加しました。今回は月ヶ瀬のお茶農家・上久保淳一さんの協力のもと、「大和茶で紅茶を作る」をテーマに、茶摘みから紅茶作りまで指導いただきました。参加者は摘みとった茶葉を粉々に碎き、密閉した袋に入れ加温・発酵させました。茶摘みの後には地元の女性団体ゆめっこクラブお手製の新米のおにぎりをはじめ、月ヶ瀬産の食材を使用した昼食も堪能し、すべての体験を通して、月ヶ瀬の良いところを子どもたちにたくさん知ってもらいました。

参加者は「この時期に茶摘みができるとは思わなかった。できあがった紅茶が届くのがとても楽しみです」と話していました。

桜井しき・宇陀地区 第4回あぐりスクール タマネギの皮でお茶作り！

9月22日、第4回あぐりスクールでは、約40名の親子が参加し、長い巻き寿司作りや、タマネギの皮茶作りを体験しました。長い巻き寿司作りでは2組に分かれ、海苔を5メートル程につないで具材をのせた後、息を合わせて一気に巻きました。タマネギの皮茶は干した皮を煮詰めてはちみつとレモンを入れて試飲しました。子どもたちは「タマネギの皮にも栄養があることが勉強できて楽しかった」と喜んでいました。

今年の年間テーマは『タマネギの不思議大発見！』で、栽培・管理・収穫・調理から販売体験まで行う予定です。



タマネギの皮茶完成まであと少し…



気持ちを新たに、交通安全を心がけます！

交通安全を啓発 御所支店職員が一日警察署長に

9月26日、御所支店の貝塚光さん他2名が同警察署にて一日警察署長に委嘱され、交通安全啓発活動を行いました。この活動は秋の交通安全県民運動に伴うもので、委嘱式後には御所営農経済センターなど2ヶ所を訪問し、それぞれの代表者に交通安全メッセージを送りました。

一日警察署長を務めた貝塚さんは「交通事故が起こらないよう、交通安全をより一層心がける思いが強まった。ライトの早め点灯などに気を付けたい」と話していました。

当JAにおいても、交通事故を未然に防ぐため、職員の交通安全に対する意識を高めてまいります。

五條・吉野地区統括部 新入職員を対象に、柿の選果場見学を実施



柿生産について理解を深めました

五條・吉野地区は、全国でも屈指の柿の生産量を誇っており、五條統合選果場と西吉野柿選果場の2つの選果場があります。10月18日、4月に入組した新入職員10名を対象に柿の選果場見学を行いました。5月には柿の摘蕾作業を体験しており、その柿がどのように選果・出荷されているのか理解を深めてもらうことを目的としています。新入職員は担当者から説明を受けながら脱渋施設・選果施設等を見学し、選果場の規模の大きさ・従業員の多さに驚いた様子でした。

新入職員にとって、農業への理解・興味を深め、今後の業務や地域・組合員とのつながりに活かすことができる良い経験となりました。

なくてはならないJAへ 新庄ライスセンター稼働！

10月11日、新庄営農経済センターで「新庄ライスセンターオペレーター会議および出発式」を行いました。北葛地区 異務理事は「大型コンバインの作業となりますので、安全運転を心がけ事故・怪我のないように、丁寧な刈取作業をお願いします」とあいさつしました。同営農経済センターの村田浩明所長は「高齢化や農業の担い手が減少する中、兼業農家等の作業負担を少しでも減らし、農業者の所得増大、農業生産の拡大の手助けをすることで、なくてはならないJAを目指していきたい」と話しました。



今後も様々な農業者支援を行ってまいります



おひつじ座
3/21～4/19

【全体運】考え方が後ろ向きになりやすい期間かも。意識的に笑顔を心掛けましょう。また、感謝できることを探すと開運に
【健康運】良好。運動で体を動かすと、なおグッド
【幸運の食べ物】カボチャ

10月26日は「柿の日」 県内各地で奈良の柿をPR！



おいしい奈良の柿をどうぞ！

まほろばキッチンJR奈良駅前店 近畿大学と連携し、大和きくをPR！

10月14日、まほろばキッチンJR奈良駅前店で大和きくのは試食PRが行われました。近畿大学農学部で食育活動を行っている「ヘルスチーム菜良」から当JAに提案があり実現したイベントで、早朝から準備した「大和きくと桜えび入りのもちもちチヂミ」を売り場の前で提供しました。

試食をした来店客からは好評で、同店の中嶋章喜主査は「これからも地域の食育活動などに協力していきたい」と話していました。



試食として大和きくを使ったチヂミを提供しました

高品質化と収量安定へ 大豆「サチユタカ」収穫始まる



担い手に応じた支援を行っています

桜井しき・宇陀地区管内の桜井市と田原本町で栽培されている大豆「サチユタカ」の収穫が11月3日から始まりしました。今年大豆は7～9月の高温・多雨により丈がやや短く、収量がやや少ない反面、品質は上々で、集落営農組合、担い手農家を中心に約20ha、30tの収量を見込んでいます。桜井市大西では、当JAの大型汎用コンバインで収穫を行い、その後カントリーエレベーターで乾燥・調整されます。

川東営農経済センターの横柿友晴所長代理は「高品質化と収量安定のための営農指導など、さまざまな形で応援していきたい」と話していました。

青壮年部 郡山・生駒支部 平群小学校3年生にイチゴの植え付けを指導

11月13日、青壮年部郡山・生駒支部は、平群町立平群小学校の3年生47名に、校内の花壇でイチゴの定植作業の指導を行いました。毎年、同支部は平群町特産の小菊栽培の指導を行っていましたが、今年度は初めてイチゴの栽培を実施しました。

児童は、マルチシートを張った花壇に1人3株ずつ慎重に植えた後、イチゴが元気に育つよう、部員が花壇に簡易なハウスを設置しました。来年4月に収穫できる予定で、児童は「おいしいイチゴが食べられるよう大事に育てたい」と話していました。



今年はイチゴの栽培にチャレンジ！

みらいくんドームバウンサー誕生!!

JAならけんのマスコットキャラクター“みらいくん”が子どもたちに人気のエアドームになりました。

今後、各地で行われるイベントに登場する予定です！集まれ元気なちびっこ！

ドームの中で飛び跳ねよう！



広陵南支店 ～1店舗1協同活動～ もしもの時に備え、防災意識向上



講習を通して、地域の方同士の交流の場にもなりました

10月19日、広陵南支店は1店舗1協同活動として、家の光7月号に掲載されている「アウトドアコードで作る防災プレスレット」作りを開催し、管内の地域住民23名が参加しました。住民同士のつながりを深め、防災への意識を持ってもらうことを目的として実施しました。

参加者は「いつ起こるかわからない災害に備えることは重要だと思った。また、地域の人たちと日頃から顔を合わせることも大事だと感じた」と話していました。

秋津支店・秋津集落営農組合・秋津支店女性部 地域活性化へ！収穫祭開催



地元のサツマイモはやっぱりおいしい！

11月3日、秋津支店と秋津集落営農組合、秋津支店女性部は今出自治会館前広場で、地域住民との交流を深める目的で収穫祭を開催しました。秋津集落営農組合による焼き芋やサツマイモの販売、女性部による模擬店などが出店しました。

秋津支店の奥寿代支店長は「天候にも恵まれ、多くの地域の方々に来場いただき、焼き芋や模擬店を楽しんでもらえた。今後も集落営農組合や女性部と協力し、取り組みを続けていきたい」と話していました。



みんなで力を合わせて収穫しました！

五條・吉野地区 第3回めぐりスクール サツマイモの収穫体験実施！

10月27日、五條・吉野地区統括部は、第3回めぐりスクールを開催し、子ども・保護者ら37名が参加しました。オリジナルスノードームを作成後、6月に定植したサツマイモの収穫体験を行いました。今年は天候の影響もあり、昨年よりやや小ぶりで収穫量も少なかったものの、子どもたちは雨上がりということもあり、ドロドロになりながらも楽しそうに芋を収穫してくれました。保護者は「自分たちで植えたサツマイモを収穫して食べることは、子どもにとっていい勉強になると思う」と話していました。

ホールインワン連発！ JAならけん女性部グラウンドゴルフ大会



ナイスショット！

JAならけん女性部は10月19日、葛城市の新庄第一健民運動場で、グラウンドゴルフの県大会を開催しました。各地区の予選を勝ち抜いた27チームが出場するなど、約300名が参加し、好プレーの度に客席やメンバーから歓声があがりました。

主な結果は次の通りです。

▼1位：北葛地区Bチーム▼2位：桜井しき・宇陀地区Bチーム▼3位：北葛地区Cチーム▼4位：奈良・天理・山辺地区Aチーム▼5位：五條・吉野地区Bチーム

地域のよりどころに！ 治道営農経済 建設工事安全祈願祭



来年3月に完成予定

10月17日、大和郡山市で治道営農経済事務所・倉庫の建設工事に係る安全祈願祭を行いました。中出篤伸会長、田中稔之理事長をはじめとした関係者らが工事の無事を祈願しました。

その後、中出会長は「自己改革を進める中で、この施設が地域の憩いの場所・よりどころとなることが、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化につながる」と意気込みを語りました。同施設は、来年3月の完成を予定しています。

奈良マラソン2018に協賛

あったかい豚汁・大和茶でランナーを応援しました！



おいしくて温まる豚汁をどうぞ！

12月8日、9日の両日開催された「奈良マラソン2018」に協賛し、スタート地点のならでんフィールド（鴻ノ池陸上競技場）でランナーや応援者に温まってもらおうと、県産食材を使った豚汁の販売や大和茶の振る舞いなどを行いました。両日ともに好天には恵まれましたが、かなり冷え込んだこともあり、ブースには温かいものを求め多くの方が詰めかけ大盛況でした。

同マラソンは平城遷都1,300年を記念して2010年に始まり、今年で9回目の開催となりました。3キロジョギングコースと10キロコース、フルマラソンの計3種目に県内外から約17,500名のランナーが参加しました。



旬のいちごを淀屋橋 odona 前で販売！ 「旬のたよりマルシェ」を開催

12月6日、農林中央金庫と連携し、淀屋橋三井ビルディング（淀屋橋 odona）前で、今回で3回目となる「旬のたよりマルシェ」を開きました。12月に入り、出荷が始まった「あすカルビー」や「あきひめ」を販売。それぞれのおいしさや魅力を丁寧に説明しました。通りがかりのビジネスマンやOLの方々を中心に、大盛況となりました。当JAでは今後も地域農業の発展に向け、消費者と対話できるこのような販売機会を増やし、積極的に活動してまいります。



“奈良のいちご”をPR!!

JAならけん大和郡山市経営者クラブ 学校給食に大和郡山市の農産物を提供しています！



安全安心な食材を提供してまいります

11月15日、大和郡山市内の農業生産者で構成される『JAならけん大和郡山市経営者クラブ』は、同市の関係者と学校給食の食材提供に関する意見交換会を開催しました。同クラブは2006年に同市と「学校給食における大和郡山市食材の利用に関する協定」を結び、年間を通じて食材を提供しています。当JAで集荷された地元の安全安心な農産物を学校給食に提供することで、地域住民の農業への理解を深め、子どもたちの食を支えていきたいとの部員らの想いから協定締結に至りました。

意見交換会では、給食センターのニーズに応え、これからの季節は地元産冬野菜などの農産物を活かしたメニューを提供できるよう話し合いました。

奈良・天理・山辺地区統括部 みのりの秋に感謝！ふれあい感謝祭開催

12月1日、2018みのりの秋「ふれあい感謝祭」を開催し、特産農産物の即売や、大学生によるスイーツ販売などを行い、約1,000名が訪れました。この催しは組合員や地域住民との交流を深め、地域活性化を図ろうと毎年開催しています。



地元の新鮮な野菜がたくさん！

また、JAならけん青壮年部奈良・天理・山辺支部も、青壮年部の活動をPRするため、帝塚山大学食物栄養学科の学生6名と共に、焼き芋やポン菓子の販売を行いました。同支部の森本浩匡支部長は「今後、JAはもちろん、大学



1日青壮年部員としてがんばってくれました！

や行政とも協力して活動を展開していきたい」と話していました。



おひつじ座
3/21～4/19

【全体運】できる人と比べ、落ち込みやすい傾向がチラリ。「人は人」と割り切って。リフレッシュするには神社散策が吉
【健康運】食生活が乱れがち。特に暴飲暴食に注意
【幸運の食べ物】タラ

子どもたちにJAを知ってもらおう みらいくんドームバウンサー大人気！

11月10日、桜井しき・宇陀地区統括部は桜井市主催の「さくらい農・商ふれあいフェスタ」で、当JAのマスコットキャラクター「みらいくん」をデザインしたエア遊具・ドームバウンサーが登場しました。何度も繰り返し並ぶ子どもたちもいて、大好評でした。多田成弘理事は「次世代を担う子どもたちにもJAを知ってもらうきっかけになれば有意義」と話しました。

「みらいくん」は2013年度に誕生し、奈良の大仏と農業を合体させたデザインで、親しみを持ってもらえるよう麦わら帽子と作業衣を着用しています。未来を担う若い世代に農の素晴らしさを伝え、食の安全・安心と子どもたちの未来を守りたいという思いから命名されました。



みんなでフワフワ飛び跳ねよう



大きなダイコンが採れました！

橿原・御所・高市地区 第5回あぐりスクール 野菜の収穫を体験！

11月17日、高市郡明日香村の尾上農園で農園の見学と野菜の収穫体験を行い、子どもと保護者計20名が参加しました。今回のあぐりスクールでは、あすカルビーを生育中のビニールハウスで高設栽培の説明を受けた後、普段スーパーなどでは見ることのないブロッコリーやキャベツなどの苗の様子を見学させていただきました。今回は、サツマイモやインゲンマメ・ニンジンやダイコンの収穫を行いました。

五條・吉野地区 第4回あぐりスクール 柿博物館・選果場見学とつるし柿作り体験

11月10日、五條市の特産品である“柿”のことをもっと知ってもらおうと、柿の歴史やさまざまな品種・加工品などが展示されている奈良県柿博物館や、柿の選別作業や箱詰め作業が行われているJAならけん西吉野柿選果場の見学を行い、子どもと保護者計16名が参加しました。つるし柿の作り方や渋抜きの方法も勉強し、保護者の方からは、「普段できない体験ができて良かった」と喜びの声もいただきました。



初めて見る作業に興味津々です

新庄営農経済センター 新庄中学校の生徒が職場体験



一生懸命作業を行ってくれました！

11月14日から16日の3日間、新庄営農経済センターは職場体験学習として、葛城市立新庄中学校の生徒10名を受け入れました。同中学校の「総合的な学習の時間の取り組みとして、正しい勤労観や将来の進路選択に資するものを得るため、人間的修練・社会性を経験すること」を目的に行われたものです。生徒たちは平成30年度産米検査作業や配達業務を行い、初めは慣れない作業に戸惑いながらも時間が経つにつれスムーズに行えるようになりました。

同営農経済センターの村田浩明所長は「今回の体験学習でJAや農業のことを知ってもらい、少しでも子どもたちの成長の手助けになり、働くことのすばらしさ、やりがい、苦労を学んでもらえたら」と話しました。



助けあい組織「どんぐりの会」

地域のお年寄りを対象にミニデイサービスを開催



個性豊かな作品を仕上げました

12月12日、奈良・天理・山辺地区助けあい組織「どんぐりの会」は大柳生支店で地域のお年寄りを対象にミニデイサービスを開催し、19名が参加しました。JA共済が奨励するレインボー体操で身体を温め、その後は部員のひとりが先生となり、2019年の干支であるイノシシの折り紙に挑戦するなど、地域のお年寄りの方々に楽しんでいただきました。

同会は、手作りこんにやくの販売によって得た資金を使い、年間8回奈良市内の支店でミニデイサービスを行うボランティア活動を展開しています。

郡山・生駒地区 第5回あぐりスクール 野菜の収穫体験・餅つき体験実施

12月16日、あぐりスクール「元気っくらぶ」は子どもと保護者30名が参加し、白菜と大根の収穫と餅つき体験を行いました。臼と杵を使った餅つきでは、職員の実演を参考に子どもたちも一生懸命、力いっぱい杵を振り下ろし、やわらかいお餅がつきあがりました。その後参加者で丸め、収穫した大根を使ってお雑煮やあんこもちにして食べました。3月にはいちごの収穫体験と閉校式を実施する予定です。



うまくできましたか？

御所葛支店・御所葛支店女性部 地域ふれあい会を開催



地域の方々との交流を深める良い機会となりました

12月8日、御所葛支店と同支店女性部は、地域の住民とのふれあい、交流を深めることを目的に、地域ふれあい会を同支店で開催しました。来場客には豚汁が振る舞われたほか、同支店女性部員が手作りした小麦餅・よもぎ餅・でっちゃんかん・栗赤飯・こんにやくなどが模擬店に並び、地域で採れた野菜や花も販売されました。

最後には数字の代わりに野菜の名前を使ったビンゴゲーム大会が行われ、大人から子どもまで笑顔で大いに楽しんでいました。

曽爾ほうれん草部会

攻めの生産へ！ 袋QRコード使用開始

曽爾支店管内の曽爾ほうれん草部会は、12月10日よりほうれん草の出荷袋を変更しました。曽爾村産農産物の統一マークを入れ曽爾産を強調したデザインにし、裏面には生産者の栽培への思いや、曽爾村の農業情勢などが記載してあります。また、印刷されているQRコードを読み取ると、産地情報・料理レシピがインターネット上で閲覧できます。部会長の萩原茂さんは「商品情報を消費者に見ていただき、曽爾ほうれん草を選んでもらえると嬉しい。今までは、お店に並んでいる商品を消費者に選んでもらっていたが、これからは生産者から消費者にアピールする攻めの生産をしていきたい」と話しました。



新しい出荷袋が完成！

東宇陀営農経済のTAC松田三智雄は「QRコードの印刷は長年取り組んできた案件であり、ようやく出荷することができた。今後も生産者の意向を酌んだ取り組みをしていきたい」と語りました。曽爾ほうれん草は市場を通して各販売店で販売されます。



おいつぶ座
3/21～4/19

【全体運】いつもとちょっと違う行動がスパイスになって、日々の生活が活気づく予感。新しい趣味を持つのも良い刺激に
【健康運】小さなけがに気を付けて。慎重さが大事
【幸運の食べ物】ワラビ

かしば地区女性部助けあい組織「ハートの会」

老健施設でボランティア活動を実施

12月13日、北葛地区管内のかしば地区女性部助けあい組織「ハートの会」は、老人保健施設でんとう虫で慰問活動を行いました。同組織は施設でのボランティアを中心に活動しています。入居者20名を前に大正琴に合わせて歌を歌ったり、頭の体操となるクイズをしたり、銭太鼓、フラダンス、健康体操を披露しました。また、9月に作成した家の光誌掲載の「防災ブレスレット」と「牛乳パックで作る六角小椅子」をプレゼントしました。

同組織の部員たちは「徐々に入居者のみなさんも楽しんでくれるようになり、積極的にクイズにも参加してくれたので良かったです。施設の見学もできたのでいい経験になりました」と話していました。



入居者のみなさんに楽しんでいただきました♪



初めてのポン菓子作りに興味津々

五條営農経済センター 1店舗1協同活動

保育園児が収穫したお米を使いポン菓子作りを実演！

12月10日、五條営農経済センターは五條市の岡保育所でのバケツ苗体験で、10月に収穫したヒノヒカリを使い園児23名に対し、ポン菓子作りの実演を行いました。園児たちは、ポン菓子を見るのも初めてで、目の前でパンと鳴る大きな音にビックリ。できあがったポン菓子を食べて「甘くてサクサクしておいしい」と好評でした。

岡保育所の栗山右子先生は「園児が日頃食べている米を実際に田植えから収穫まで体験を行うなど、食育活動の貴重な体験ができ、ＪＡさんに大変感謝している。活動内容をイラストや写真を使ったPOPを作成し、保護者にも伝えていく」と話されていました。

第20回ＪＡならけん家の光大会を開催

1月11日、橿原文化会館で第20回家の光大会を開催し、ＪＡならけん女性部部員と一般応募者約1,300名が来場しました。『家の光』誌記事活用体験発表では協同活動や地域活性化、仲間づくりなど記事活用を通じた体験を3名が発表しました。審査の結果、「家の光と共に成長したハートの会」と題し発表した北葛地区の甲本京子さんが、2月に行われる全国家の光大会の奈良県代表に選ばれました。

また、教育文化活動実績の発表では、室生支店の田中郁子さんが「ここに残してもらうための創案と活動」と題して発表しました。田中さんは12月に行われた教育文化活動実績発表会で奈良県代表に選ばれています。生活文化活動の発表では、6地区の女性部がダンスやコーラス、トリム体操、ハンドベル演奏、認知症予防を呼びかける紙芝居など、日頃の取り組みの成果を披露しました。

表彰式が行われたあと、元大相撲力士の舞の海秀平氏を講師に招き「決してあきらめない」と題した講演会が行われました。舞の海氏は小柄ながら「技のデパート」の異名をとるほど変幻自在な技の数々で、大柄な力士相手に渡り合っていました。現役時代の苦労話や、力士仲間とのエピソードなどを、ユーモアを交えながら話し、来場者の笑いを誘っていました。



挨拶をする中出会長



生活文化活動の発表では日頃の取り組みの成果を披露しました♪



奈良県代表に選ばれた甲本さん
全国大会でもがんばってください！



舞の海秀平さん、楽しい講演を
ありがとうございました！

